ウシ用インターフェロンアルファ経口投与剤(ビムロン)に係る食品健康影響評価
に関する審議結果についての御意見・情報の募集結果について

- 1．実施期間 平成16年6月3日～6月30日
- 2．提出方法 インターネット、ファックス、郵送
- 3．提出状況 1通
- 4．主な御意見の概要及びそれに対する動物用専門調査会の回答

	御意見・情報の概要	専門調査会の回答
1	<p>毒性試験では様々な動物にて行われているようですが危険なのは使用によって代々微量であっても体内に蓄積される事によって起こる状態だと思えます。ですから長期にわたる残留試験の必要性を思えます。</p>	<p>本剤の有効成分であるヒトインターフェロン- (BALL-1)は蛋白質であり、経口投与では食物と同様に消化されてしまいます。また、消化による分解がない静脈への大量投与でも速やかに分解されており、蓄積は認められませんでした。このことから、本動物用医薬品について残留試験の実施は必要ないと判断しています。</p> <p>なお、ヒトインターフェロン- (BALL-1)は、元来ヒトの体内でも生産されているものです。</p>